

認証評価結果に対する改善報告書

平成28年7月13日

1. 大学名：京都嵯峨芸術大学

2. 認証評価実施年度：平成25年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

・造形学科について、学生の収容定員充足率が大幅に下回っており、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入学定員	85	85	40	40	40	40
編入学定員	16	16	5	5	5	5
収容定員 (a)	372	372	316	260	215	170
在籍学生数 (b)	231	196	169	166	159	166
収容定員充足率(b/a)	0.62	0.53	0.53	0.64	0.74	0.98

平成25年度の認証評価の指摘を受け、鋭意学内で検討したが、18歳人口の減少による影響は免れがたく、志願者数の低下は否めない事実で、平成26年2月28日理事会において、カリキュラムの改編や学生募集活動の強化等による手立てを講じながらも、定員削減の学則変更を行うことを決定した。

同年5月23日付で文部科学省に収容定員関係学則変更届出書を提出した。

平成27年度より4年間かけて定員削減を行うこととなっており、平成28年度ではまだ、収容定員充足率の大幅な改善は実現できていないが、平成30年度に向けて着実な改善を見込んでいる。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

2-1-01 理事会議事録（平成26年2月28日）

2-1-02 京都嵯峨芸術大学収容定員関係学則変更届出書（平成26年5月23日）